

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2020年 11月 4日作成 第2.1版

研究課題名	正常分娩の分娩曲線について
研究の対象	附属市民総合医療センターと国内の協力施設3施設（岡山大学病院、帯広厚生病院、東京大学附属病院）で2012年9月1日から2019年12月31日の間に正常分娩された妊婦さん
研究目的 ・方法	<p>正常なお産の進行かどうかを判断するためのひとつの目安として分娩曲線が知られています。現在示されている分娩曲線は1950年代に作成された古いものや、他には、無痛分娩や陣痛促進剤使用症例が含まれたデータから作成されたものが主流です。真の正常分娩の分娩曲線として、陣痛促進剤使用などのない正常分娩がどう進行するかを当院およびデータ提供施設の診療録から情報を収集し、真の正常分娩の分娩曲線を作成することを目的としています。</p> <p>協力施設から当院へのデータの提供は、個人を特定できないよう匿名化したうえで、郵送で行われます。集積したデータは当院の総合周産期母子医療センターで厳重に保管します。</p>
研究期間	西暦 2020年 1月 24日 ~ 西暦 2022年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	<p>以下の情報を診療録より収集します。</p> <p>母体年齢、非妊時BMI、経産回数、母体の既往歴、妊娠中の合併症、入院時の内診診断、分娩経過中の内診回数および時間と所見、分娩時間、分娩時出血量、分娩時の処置、出生児体重・身長・性別、UApH、Apgarスコア、入院中の新生児の処置</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター 母子医療センター（研究責任者）進藤 亮輔</p> <p>電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-5873</p>	